

# わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します  
— 連載第51回 —

広島大学附属三原中学校一年

大元 瑛太

知っていますか？ 三原の海の現状を

広島大学附属三原中学校では、「光輝（かがやき）」という独自の授業があります。私たち一年生は、この授業で探究学習に励んでいます。班ごとに三原を題材にテーマを決めてSDGsに関わる研究を行っています。

私たちの班は、三

原が海に面していることから、海の世界を調べることにしました。研究テーマは「瀬戸内海の抱える問題と自分たちにできる対策」です。最初にインターネットや本を使って調べました。そしてより正確な情報を知りたいと思うようになり、三原の海や川の水質を調査するために十二月にフィールドワークを行いました。和久原川の下流二箇所と三原港でpHとCODを測定しました。結果は、三箇所ともきれいな川の基準より少し汚れていることが分かりました。また、三原の海をより身近に感じることができたとともに、さらに探究していききたい課題も出てきました。

今後は、調べた情報をもとに探究を深め、その成果をまとめて発表していきます。この探究学習を通して私は、三原の海が多くの人たちの心を豊かにしてくれるものになるよう貢献していきたいです。



如水館中学校二年

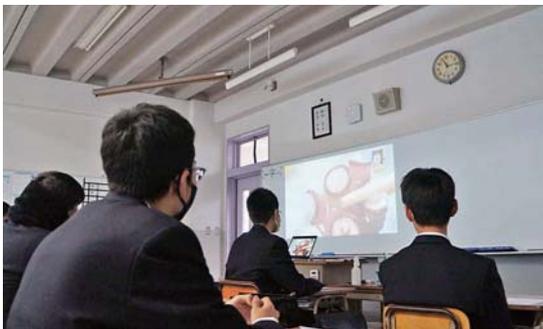
渡邊 小葉

私の住む三原

私は、学校の授業で、有名人が日本の様々な場所へ行き、その町の有名な食べ物を紹介する、という番組を観ました。その時観たのは、私が今住んでいる三原市の有名な食べ物が紹介されている回で、とても驚くと同時に嬉しかったです。

そこでは三原市の特産品である、たこを使った料理の店や、鳥もつが入ったお好み焼きの店が紹介されていました。その店に行った有名人は、料理をとっても美味しそうに食べていました。また、「三原に来て良かった」と仰る姿を見て、私もとても誇らしい気持ちになりました。

私は、この番組を観て、この三原の町は素晴らしい食べ物で溢れているということに改めて気付きました。また、三原に住む人たちが協力して、三原の食文化をつないでいることが分かりました。私も三原の素晴らしい食べ物、色んな所へ広め、三原の食文化を継承したいと考えました。そのためにも、三原の良い所をたくさん見つけ、それをまずは近くの人達に伝えていこうと思います。たくさんの人に三原の良さを知ってもらえると嬉しいです。



広島三育学院中学校三年

仲本 未花子

3年ぶりのクリスマスコンサート

聖歌隊とは、讃美歌を通して神様を伝道する合唱団です。現在男女各18名、計36名で活動しています。週4回の全体練習や個人の練習を通して、曲の完成度を高めています。

一年の活動の中でも大イベントは、クリスマスコンサートです。この日のために、皆さんが一度は聞いたことのあるクリスマスソングや有名な讃美歌のメドレーなど、十数曲を練習してきました。今年度は3年ぶりに、大和町下徳良にある大和文化センターホールでコンサートを開催しました。

12月2日、初めて訪れたホールは小劇場のようで、ここで本当に歌えるんだ！と胸が躍りました。本来であればキャンパス内の小学生と高校生も一緒に演奏するはずだったので、新型コロナウイルスの影響で急ぎよ参加できなくなりました。私たちは、来ることができなかつた人たちの分も含めてベストを尽くそうという思いで本番に臨み、今まで練習してきたことを精一杯出し尽くすことができました。

会場を整えてくださり、歌う機会を与えてくださったすべての方々に、感謝しています。

